



たか畑

大田区立高畑小学校 学校だより 11月号

令和4年10月31日(月)発行 校長 室伏 亜紀

〒144-0056 西六郷3-28-23

<http://www.ota-school.ed.jp/takahata-es/index.html>

『たてわり班活動』

校長 室伏 亜紀

11月を迎え、ようやく秋らしい天候が続くようになりました。天気の良い日の休み時間には、子供たちは元気いっぱい校庭で走り回って遊んでいます。さて、普段、御家庭で子供たちは誰と遊んでいるのでしょうか。家族と、同じクラスの友達と、近所の幼なじみと…。一人で、またはオンラインでゲームという子供も多いかもしれません。昔と違って、「異学年の集団で遊ぶ」という機会は明らかに減っています。そこで、学校では「たてわり班活動」として1年～6年の子供たちでグループを作り、学期に2回程度一緒に遊ぶ活動を行っています。

先日、たてわり班による全校遠足が行われました。3・4校時に多摩川の河川敷に行って、たてわり班のグループで遊ぶといった内容です。遠くに行くわけではなく、お弁当を食べるわけでもなく、遠足と呼ぶのは申し訳ないくらいの取組ですが、子供たちは心から楽しんでいました。朝、リュックを背負って登校してきたときから、どの子も「おはようございます!」と、いつもの倍くらい元気な声で挨拶をしていました。当日の欠席者はいつもの三分の二くらいでした。子供たちがいかに遠足を楽しみにしていたかが分かります。現地では、6年生が上手にリードしながら、だるまさんがころんだ、しっぽとり、こおりおになど、様々な遊びを楽しんでいました。800人近い子供たちが走り回っても十分な広さがある河川敷が身近にあるという環境は、本当に恵まれたものだと思います。

学校に戻ってから、子供たちに楽しかったことについて聞いてみました。1年生からは「お兄さんやお姉さんが優しくしてくれたこと。」という答えが返ってきました。こうして上級生に優しくかかわってもらった経験をもつ子供は、自分が上級生になったときに下級生に優しく接することができます。思いやりの気持ちはつながっていくのです。また、ある6年生の児童は、「1年生と一緒に遊べたこと。」と言っていました。遊びの内容そのものの楽しさだけでなく、下級生に喜んでもらうということに価値を見出し、その良さを実感していることが分かりました。

私が子供のころ、年齢の違う集団で遊ぶ時には「おみそ」や「おまめ」といったルールを取り入れていました。地方によって呼び方は違うようですが、たとえば、鬼ごっこをして遊ぶときに、年少の子は鬼にタッチされても鬼にならなくてよいといったハンデのような約束です。このルールがあることによって、下級生は上級生と一緒に楽しむことができ、上級生は下級生には手加減をしなければならないということ遊びの中で学ぶことができました。そしてそこでは自然な形で「思いやり」という気持ちが育まれていました。

コロナ禍の中、改めて人とかかわりの大切さが注目されています。学校では、今後もたてわり班活動やクラブ活動などを通して意図的に異学年の児童がかかわる機会を設け、子供たちの成長を支えてまいります。

10月13日(木) 田中 恵美子 教諭が男児を出産されました。おめでとうございます。



11月の行事予定

11月は、「子どもの心サポート月間」です。

SC: スクールカウンセラー来校日

(SC来校日につながる、相談室の電話番号 080-5977-6195)

1	火		
2	水	4時間授業 給食なし 就学時健康診断	SC
3	木	文化の日	
4	金	学校生活調査(全)	SC
5	土	東京都教育の日 高畑フェスタ	
6	日		
7	月	クラブ活動	
8	火	社会科見学(6年)	SC
9	水	児童集会 小中一貫の会 地域点検	
10	木	安全指導(事故防止) 学級集団調査(3~6年) 歯科衛生教室(2年)	
11	金	避難訓練(地震・津波)	SC
12	土	土曜授業日(3時間授業) 土曜補習教室	
13	日		
14	月	全校朝会 給食費引落日	
15	火	煙体験(2・4年) 個人面談① 事前検診(6年)	SC
16	水	体育朝会 午前授業	
17	木	伊豆移動教室①(6年) 色覚検査(4年) 個人面談②	
18	金	伊豆移動教室②(6年) 個人面談③ 音楽会特別時間割始	SC
19	土		
20	日		
21	月	午前授業	
22	火	起震車体験(3・5年) 個人面談④	SC
23	水	勤労感謝の日	
24	木	個人面談⑤	
25	金	個人面談⑥	SC
26	土		
27	日		
28	月	全校朝会 委員会活動	
29	火		SC
30	水	音楽朝会	
1	木	学習発表会 児童鑑賞日(1日目)	
2	金	学習発表会 児童鑑賞日(2日目)	SC
3	土	学習発表会 保護者鑑賞日	

今年度の研究について

研究推進部 緒方 理子

高畑小学校では、一昨年度、昨年度と、学年相当の教科書の文章が的確に理解できることを目指して、読む力を高めることを主題に国語の研究を進めました。昨年度は、他教科や生活場面でも目にする機会の多い説明文に絞りました。年度末のアンケートからは、児童全体の読みへの意欲が向上した一方、読んで理解する力が十分ではないと感じている児童も少なくないことが分かりました。

そこで、今年度も説明文指導の研究を継続することにしました。また、児童自らが読みながら考えていこうとすることが、正しい読みへの推進力となると考え、主題を「主体的に考えをもつ児童の育成 ～説明的な文章を読むことを通して～」としました。また、初年度から行っている、読書の奨励や辞書・新聞の活用、視写や音読にも継続して取り組んでいます。本年度からは、「言葉の広場」と題し、月替わりで掲示板を使って言葉遊びや詩などを紹介しています。

言語は知的活動（論理や思考）の基盤であり、コミュニケーションの基盤でもあります。

言葉に触れたり読んだりすることに興味をもち、読んでわかる楽しさや、筆者の考えに対して自分の考えをもつ楽しさを味わい、それがさらなる主体的に読み進める姿勢にむかうよう、研究を進めていきます。

11月の生活目標「人や物を大切にしよう」

生活指導部 森田 美絵

- ・相手の対場になって考えよう。
- ・ふわふわ言葉を意識して使おう。
- ・持ち物に名前を書こう。
- ・使ったものは元の場所にもどそう。

11月は「子どもの心サポート月間」です。人を大切にするために、相手の気持ちを思いやる優しい心を育てていきます。また、まずは自分の持ち物を大切に扱うために、持ち物に記名するよう、再度、声を掛けていきます。

『早寝・早起き・朝ごはん』

養護教諭 吉田 峯子

大田区では、5月と10月を「早寝・早起き・朝ごはん月間」と位置付け、学校と家庭における基本的な生活習慣の確立や食育の啓発を図っています。

本校では、「早寝・早起き・朝ごはん」に「運動」を加え取り組んでいます。5月は「7時起床・9時就寝（低）10時就寝（高）」に取り組みました。10月は就寝時刻を各自が決め、目標に取り組むことで生活改善を促しました。

「睡眠・栄養・運動」が健康な体づくりの基本です。これからも各自の目標に取り組んでほしいと思います。健康な心と体で楽しい日々を過ごしましょう。

校外学習の思い出 5年生

5年1組 F・S

東京グローバルゲートウェイは、将来の自分たちにとっても影響を与える場所だと感じました。社会人になった自分を思い浮かべると、海外に行きたい、海外で働きたいなどいろいろな考えが出てきました。実際に会話をしてみることで、英語でしっかりとその人に合わせて対応しなければ、相手も困ってしまうことがわかりました。海外の人と会話をするとき、自分のことを伝えるだけでなく、相手の気持ちにもしっかりと寄り添ってあげることが、これから目指していきたいと考えました。私が大人になった時には、どの国の人も気軽に簡単に会話ができるようになっていければいいなと思いました。

5年2組 S・H

今回、東京グローバルゲートウェイでの英語活動を通して学んだことは、英語がどれだけ苦手でも、笑顔・勇気・諦めない心・積極的にコミュニケーションをとろうとする前向きな心さえあれば何だってできるということです。ここで学んだことは、英語を使う時だけでなく、様々な場面で活用していきたいです。また、6年生の移動教室に向けて、私は班長として、人数確認や素早く行動すること、時間を守り、はぐれないよう班行動することを意識して頑張りました。班のメンバーに呼びかける声の大きさも、その場に合った声を意識することが大切だと気が付きました。最高の思い出ができた校外学習でした。

5年3組 I・M

東京グローバルゲートウェイでは、今までに習った単語や熟語がたくさん出てきたので、外国人のスタッフの人が言っていることが分かって安心しました。また、言われたことに対してこちらが言葉を返すととても喜んでいたので、伝わった喜びもありました。次は、さらに理解し、言葉を返すことができるように勉強したいです。英語に関するイベントに積極的に参加したり、英語を自主的に勉強したりする時間を作りたいです。高学年としての行動も、時間を守って集合することができたので、これからも伸ばしていきたいです。このことは、来年も、学校以外でもがんばります。

5年4組 F・K

私は校外学習を終えて学んだことは3つあります。1つ目は班行動の大切さです。日本科学未来館は迷ってしまいそうになるくらいとても広いので、班長を中心にグループでルールを守り、行動することが大切だと感じました。2つ目はチームワークについてです。東京グローバルゲートウェイでミッションをクリアするためには、チームワークが必要でした。英語を学びながら、絆も深めることができたのでよかったです。最後に時間についてです。朝の集合時間や班別行動での終了時間など、時間を気にして行動することが大切だと学びました。これらのことを来年の移動教室に生かしていきたいです。